



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 下町豊重
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

2月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【世界共通】
苦しんでいる人々へのなぐさめ
【日本の教会】福音的価値観の証し

非暴力―神の愛とその力を確信する

カテドラルで「世界平和の日」

2017年元旦ミサ（神の母聖マリアの祝日）が午前10時、カテドラル大名町教会で宮原良治司教主式によって行われた。



元旦にカテドラルに集った信徒たち

ミサに先立ち宮原司教は、昨年の熊本震災に際し寄せられた物心両面からの数多くの支援に感謝しつつ、「昨年の教区目標だった『いつくしみ

深く御父のように』が教区民にかなり浸透しているとの手応えがありました」と述べ、参拝した約800人の信徒をミサへと導いた。毎年1月1日は「世界平和の日」で、今年が50回目になる。宮原司教は、例年通り出されたフランススコ教皇の「世界平和の日」メッセージを説教の中で紹介した。メッセージの主題は「非暴力に基づく平和の構築」。宮原司教は教皇メッセージを引用し、「キリスト信者にとって非暴力は単なる戦術的行動ではなく、人格のあり方です。それは神の愛とその力を確信する人の態度です。こ

のような人は愛と真理という武器のみによって悪に立ち向かうことを恐れないからです」とし、さらに「敵への愛は『キリスト教の革命』の核心です。敵を愛するよう求める福音は、キリスト教の非暴力の『憲章』と考えてよく、キリスト教の非暴力とは、悪に屈することではなく、むしろ善をもって悪に対抗することです」と説いた。また、「暴

（報告＝川口武雄）

イ・ハヌン神学生が助祭に

韓国大邱大司教区カテドラルにて



大邱大司教区カテドラルでの助祭叙階式



イ・ハヌン助祭

1月17日、冬晴れの韓国大邱（テグ）大司教区カテドラルで、イ・ハヌン神学生が助祭に叙階された。イ神学生は2年前に大邱大司教区より福岡教区に派遣され来日。日本カトリック神学院で学んでいる。

この日、色鮮やかなチャゴゴリに身を包む婦人方が参列者達をにこやかに聖堂に案内した。いっしょに堂内は1500人ほどで溢れた。現地の司祭百人ほどをはじめ福岡教区と長崎教区から、そして日本カトリック神学院や司祭養成担当司祭らの顔ぶれもあった。入堂の行列は荘厳な聖歌で包みこまれた。式の始めのみ言葉の祭儀では、大邱大司教区のタデウス・チョ大司教が「助祭としての奉仕に務めるように」と神学生を励ました。やがて助祭叙階の儀に入った。名前を呼ばれた7人の神学生は前に進み出、自らの意思表明をし、（神の助けによって）助祭職を果たしていく決意を新たにされた。大司教の按手によって7人は助祭に叙階された。その後、日本で奉仕するイ・ハヌン新助祭

時の話題

祖先の信仰に思いを馳せて

1867年2月、今村で信徒発見がなされた12年後、浦上十字会の岩永キクさんが、福岡県今村に派遣されたのは1879年3月。その後、岩永キクさん、平田口クさんら5人は教会活動に精を出し、農耕作業に従事し、また病人見舞いという奉仕活動も続けながら修道会設立の準備を整え、パリミツシヨンのソール神父より、1884年3月に天主教公教愛苦会修道会として創立していただいた。

修道会の活動は典礼奉仕へ、病人見舞いは福祉施設へ、そして農耕作業は子どもたちの要理指導へと変わったが、この地に根付いて今も尚、信徒の皆さんに助けられながら歩んでいる。

さて、今村信徒発見150年の記念ミサの日が近づいている。信徒の皆さんは主任司祭と共に準備に邁進しておられるが、私の役割は信徒の皆さんと聖歌の練習を担当している。中でも、「殉教の血潮」の最後の二節「とおつ みおやの すえぞわれらは」という箇所が私のお気に入り。「私たちは尊い子孫の末裔です」と解釈して、未知の世界の福岡県今村にたった一人で派遣された岩永キクさんの心の中はどうかであつたらうかと思いを馳せる。教会に集う人達、老いも若きも聖歌集を開いて一つの心になつて歌う姿は、尊い祖先が残してくれた信仰あればこそその光景だと思う。2月26日、今村教会が信徒発見を祝う祈りの声と歌声に包まれ、天上と地上が一つになつて喜びを分かち合う為に、残り数日間の練習の時間を張り切って取り組んでいきたい。

みなさん、どうぞおいでください。

愛苦会修道会
Sr.萩原美代子
※それから132年。今も愛苦会修道会は当時と同じように活動をしています。

福岡教区 教区内全司祭総会
教会のこれからに期待

1月23日から24日にかけて、教区内で働く司祭の総会が玉名のホテルで行われた。宮原良治司教と司祭約50人は新しい一年を有意義に過ごすための力と教会のこれからに期待する時を共にした。

初日の総会のみ言葉の祭儀が始まった。次いで、教区長宮原良治司教より講話がなされた。宮原司教は、「昨年は神のいつくしみを感じ味わうことができた。熊本の震災において、被災者のために各方面から祈りと多大なる支援をいただいたことに感謝申し上げたい」と述べ、「今年の教区年間テーマを『いつくしみから踏み出す第一歩』とした。それは昨年いただいたいつくしみを今年はより具体的に、積極的に表してほしいという思いからである。それで、まず内的な糧を充分にいただいて活動の力にすることが、その原動力となる『聖体』と『ゆるしの秘跡』を大切にすること。これすなわち神のいつくしみから力を汲むことである。これら秘跡を頻繁にいただくよう勧めたい。第2に、『み言葉』に重きを置いた信仰生活ができるようにしてほしい。第3に、外向けの信仰活動を具体的に、積極的に取る

翌日は朝の祈りをし、朝食を済ませた後、教区組織の各委員会と各部署からの報告が同会場で行われた。組織も軌道に乗ってきた感があり、各々、意識をもって活動している様子が見え、（教区組織は教区ハンドブック参照）その後司教主式のミサが捧げられた。司教は説教で「神の御旨を果たすべく、キリストを充分に自分の内に招き、導いていただこう。司祭団の交わりと一致のためにも同様である」と語った。最後は昼食を共にしてホテルを後にした。



幼い女の子が「ああ、かわいそうに。お花が死んじゃうよ」と、雪にかぶさってしまつた梅の花を見て大きな声で叫んだ。近くの男の子が、「だいたいようだよ、だつてお花は強いからまた顔をだすよ」と言った。数日後、梅の花がまた顔を見せてくれた。前よりも大きくなつてきれいに開いた。私たちも同じ道を歩んで行くのだから。転んでは起き上がりの人生なのだろう。私たちの先を行かれるイエス様がそうであつた。神でありながら人として生きていかれる中で喜びも悲しみもあり、苦しみもあった。最後は持ち前の「愛の花」を咲かせてくださり、死んで復活し、しおれることのない大輪の花を咲かせてくださった。そんなイエス様のようになりたいならば、「自分の十字架を担って私に従え」と言われる（ルカ9章参考）。自分の十字架を避ける人はいる。担いきれない、と初めからそれを遠ざけてしまふ。でも、意欲を持つて、また隣人の協力を得てでも前に進んでいけないうか。聖パウロは「神は人に背負いきれないほどのものは与えない。試練を乗り越える力も神はお与えになる」（1コリ10章参考）と言っている。今現在もそれぞれに十字架はある。次の十字架はどんなものだろう。人生を終え、神の許にたどり着くまでに心労、苦勞は絶えることはない。しかし、イエス様の十字架が教えてくれるものは「究極の勝利」「永遠の喜び」が控えているということだ。「死んで花実が咲く」ように、勝利のシンボルである十字架をかついで天国の坂をしっかりと歩んでいこう。（S）

熊本地震被災地支援

熊本カトリック女性の会の支援の輪広がる



暖房器具を仮設世帯に届ける女性の会のメンバーと森山神父（カリタス福岡）

地震直後から独自のネットワークを活用して、支援活動を続けてきた熊本カトリック女性の会。その支援の輪は今も広がっています。

昨年12月8日、無原罪の聖マリアの祝日に例年通り、感謝ミサを捧げた。「今年は、地震、大雨、阿蘇火山爆発など本当にいろいろなことがありました。その災害や困難さをもが私たちを神と共に働く者に変えた機会となりました」と会員は振り返る。

現在は主に、熊本県阿蘇郡西原村の被災者と連携して支援を行っている。11月後半から12月、被災者からの聴き取りで冬支度が急務であることがわかった。仮

設住宅やみなし仮設に布団、電気カーペット、電気ストーブ、冬物衣類、こたつ等を届けた。クリスマスにはグリーティングカードを添えた。損壊した家々から救出できた家財や農業機械などを雨露から守れるように、テントを提供し設置するボランティア活動への資金援助も行っている。

また、障がい者の支援施設「NPO法人にしはたんぼばハウス」の物品を各教会で販売する等の支援も行っている。

全国からの支援を被災地のニーズに結びつける。また、被災者の歩みに寄り添う。女

熊本地震支援金について

カトリック福岡司教区で募っている「熊本地震支援金」は2017年3月末をもって受付を終了いたします。熊本地震被災者のために、多くの支援金とお祈りを頂き、改めて御礼申し上げます。（教区被災者支援室）

性ならではの支援の力が発揮されている。

熊本カトリック女性の会の支援活動の詳細はFacebookを通じて発信されている。

2017年のクリスマス教一致祈禱週間は、ルターの宗教改革500周年記念を背景として準備された。昨年10月31日にはスウェーデンのルンドでカトリック教会とルーテル教会の合同礼拝が行われ、共同声明が発表された。日本では11月23日に長崎の浦上教会にて、日本福音ルーテル教会と日本カトリック司教協議会が共同企画主催するシンポジウムと礼拝が行われる。

1月1日「神の母聖マリアの祝日」に、今村・本郷教会（主任司祭・竹森勇神父）では、成人式を迎える若者をお祝した。今村教会では県内と地元の大生の2人、本郷教会では地元の大学生と里帰りした大阪府警察官、防衛大学生で自衛官を目指す女性の3人がそれぞれ参加した。ミサの中で主任司祭の祝福の祈りがあり、信徒たちに紹介された新成人は自己紹介と将来の抱負を語り、郷里の信徒からお祝いと祝福、そして励ま



本郷教会での成人式

今村・本郷教会

教区内各地で成人式 未来の扉を開く新成人

しの言葉を受けていた。

今村・本郷教会では、今年2月26日に「今村信徒発見150周年記念」を迎えるに当たり、これからの郷里の信徒達とともに、先祖からの信仰の遺産を引き継ぎ、伝達すべく、彼ら若者たちの自覚と活躍が大いに期待される。

光丘教会



光丘教会での成人式

福岡キリスト教一致祈禱会

和解の働き手となる



各派の代表がろうそくを持ち、十字架を囲む

「神はいエス・キリストを通して私たちを自分と和解させてくださいました。そして、キリストの愛は和解の働き手となるよう私たちを駆り立てています。聖霊の一致のうちに神を礼拝し、たたえま

「神はいエス・キリストを通して私たちを自分と和解させてくださいました。そして、キリストの愛は和解の働き手となるよう私たちを駆り立てています。聖霊の一致のうちに神を礼拝し、たたえま

しよう。」

このような招きの言葉で始まった福岡キリスト教一致祈禱会が1月22日（日）、日本聖公会福岡聖パウロ教会（福岡市中央区）で行われた。日本

貴さん。2人は「私たちのために祈ってくれる共同体に感謝です」と笑顔を輝かせていた。

ミサでは、平田敬神父が説教で「東方の博士たちが幼子イエスと出会ったように、全ての出会いには神秘。新成人2人が教会に足を運んだことも

一つの出会いであり、素晴らしい未来の扉を開くための神祕的な招き」と新成人に呼びかけ、「神との出会いを大切に生きていけたなら、どんなに幸せなことだろうか」と共同体全体に語りかけた。

忙しい学生生活の中で教会から足が遠のく日もあった2

人だが、祝福を祈る表情は真剣そのもの。賀村さんは「実は教会に来るのは久しぶり。でも、皆が自分のことを覚えていてくれてうれしかった」と笑顔。岩村さんも「これから少しでも教会の役に立ちたい」と気持ちを新たにしていた。

福岡教区修道女連盟研修会

高山右近その人と信仰



1月9日（月）カテドラル大名町教会において福岡教区修道女連盟の研修会「高山右近 その人と信仰―光への道」が、平林冬樹神父（イエズス会）を講師に迎え、行われ、約80人が集った。

平林神父は、聖人と殉教者の意味を説明し、「聖人は神からメッセージを託されているが、右近にはどんなメッセージがあるのか」と問い、右近の試練を「選び」「信仰は成長する」「謙遜」の三つの観点から、四つの試練を語

られた。第一の試練は1573年の和田惟長事件、第二は1578年の荒木村重事件、第三は1587年の豊臣秀吉による伴天連追放令、第四は1614年の徳川家康の禁教令による国外追放で、最初の試練で神の愛に触れ神を信じた右近は、試練に直面する度にその価値に気付いて神を選び、神に信頼して全てを委ねる。この霊的な歩みにより信仰は深められ成長し、全ての出来事は神の力、神の恵みとして受け止め、神だけに頼る謙遜な人「証し人」になっていく。最後に「神だけに頼り、神がいてくださるから希望のないところに希望を見出すことが出来る。その意味で罪人であっても祝福されている」と語った。

「祝福の歌」をもって終了。その後のミサで、右近に倣い、信仰の良き証し人となる恵みと力を願い祈った。

（イエスのカリタス修道会 Sr.村田 智恵子）

計報

アンドレ・ベルトラン神父

（パリ外国宣教会）



1月10日、フランス・ローリスにある同会の老人ホームで肺がんのため帰天。享年85歳。13日に南フランス・ロデス教区セヴラク・レ・シャトールの教会で葬儀ミサが捧げられ

川口訓子修道女

（マリアの宣教師 フランシスコ修道会）

1927年生まれ。修道生活63年。1月1日に帰天。享年89歳。

【月例黙想会】

期 日：①2月18日（土）17時～19日（日）15時 ②3月11日（土）17時～12日（日）15時
指導者：染野 治雄 神父（福岡黙想の家主任）
費用：8,700円（税込・指導料含む）

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com
インターネットで検索

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA

スイートタイプ（赤）（白）

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5



八代教会では、八代百百合学園高校吹奏楽部の生徒が殉教碑の前でミニコンサートを開催。初めての試みだが、大成功。両隣の総合病院やビジネスホテルの窓から見ておられる方もいた。



武蔵ヶ丘教会のデンニサンタと子どもたち

熊本地震を乗り越えて
今年もこの聖堂でクリスマス
2016年4月14日と16日、熊本市の北部に位置する武蔵ヶ丘教会も壁にひびが入る等の被害に遭い、信徒さんの中には被害の大きかった地区に住む方もおられ、他人事ではなかった。



時間が書かれたカードを配る。カードを受けとり足を止める人、読みながら通り過ぎていく人。
週末ということもあってか、例年以上の約1900人が夜半のミサ(3回)と日中のミサに集った。
夜半の9時の宮原良治司教司式のミサの初めに、司教は「ひそやかに眠っている幼子たちが私たちに何を語りかけているのか、どんな生き方に招いていくか。」



カテドラルの外階段で歌う子どもたち

12月24日(土)の夕方6時、カテドラル大名町教会の外階段に子どもたちの歌声が響いた。大通りに面した場所では人々が行きかう。有志がクリスマスメッセージとミサの

カテドラルにて
幼子に耳を傾けて

感謝のミサの後には、当教会ならではのパーティーが行われ、デンニ・サンタクロースと8カ国の仲間がひとつとなつて大いに盛り上がり、あの恐ろしかった、辛かった悲しかった地震を忘れるようなひとときを過ごした。神に感謝! 支えてくださった方々に感謝! お祈りをありがとうございます!

また、回勅「ラウダート・シ」にも触れ、「子ども達に何を残すことができるのか」と問いかけて、神との関係、周囲との関係、社会との関係、自身との関係を見直し、回心して、生き方を変えることを呼びかけた。
デンニ神父の司式のもと、120人余の参列者にとつて忘れ得ぬ一夜となったことであろう。

「現代社会ではあまりにも豊かになつて、支えあう心、助け合う心が置き去りになつていきます」と語り、自分の足りなさ、貧しさをわきまえて、神様との関係を見つめなおすことも大切と説いた。

ておられるのか、そのことに耳を傾けながらこの聖なる夜のミサ聖祭を捧げましょう」と会衆を招いた。

12月23日に施設「いとし子の家」において利用者、保護者、各関係者など150人ほどの参加によりクリスマス会が行われた。(施設は佐賀県佐賀市にあり、重度・重複の知的障がい者の方々の入所施設である。)

障がい者施設「いとし子の家」
この世を照らす光となつて

昨年12月25日の午後2時から聖マリア病院ホスピス病棟で、また午後3時15分からは外来棟1階ロビーにて明光学園の生徒達によるクワイアチャイムの演奏が行われた。美しい音色に入院患者、その家族、近隣の方々が聞き入っていました。



全棟に分かれて祝福を運ぶ司祭たち

スマスの本来の意味である「イエス様のご誕生をお祝いする日」としての歴史などが分かりやすく話された。キャンドルサービスでは御子イエスの降誕をお祝いし、「そのキャンドルに灯された御子イエスの光によって照らされた私たちも、この世を照らす光となりますように」と祈った。その他

午後4時半からは病院内にある雪の聖母聖堂にてクリスマスミサが行なわれた。聖堂内に入り切れないくらい多くの参列者に対し、宮原良治司教の主式、筑後地区を中心とした司祭団10人の共同司式によるものであった。
宮原司教は、「クリスマスが社会に浸透しているのは好ましい。しかし一般の方々に本当のクリスマスの意味を知らせることは重要です。クリスマスとはプレゼントをもらうのではなく、困った方々に与えること」と述べ、クリスマスツリーの由来、人類の起源についても分かりやすく話した。

ミサ終了後のキャンドルサービスでは、職員、聖マリア学院大学の学生、保健医療経営大学の学生、信愛女学院の生徒、筑後地区と佐賀地区の女性の会の方も含めた聖歌隊の聖歌が美しく響く中、1000人を越える入院患者・入所者のすべての人へクリスマスケーキが司教と司祭団の手から渡された。各師の励ましの言葉に、涙ぐんでしまう患者もいた。

今年も天候にも恵まれ身も心も温かい合同クリスマスだったと感じた。

また、社会福祉法人福成会の老人ホームメゾンマリアでは入所者の他、近隣に住む独居老人の方々を招き、ケーキが配られ一緒に祝うことができた。

共通の信仰はどこにあるのか? 「義認」「聖餐」「聖書と伝統」などの教会分裂を引き起こした神学的テーマを、両教会の対話を通して克服し、新しい「教会の一致」を模索した画期的な試み。宗教改革500年に向けて、和解と一致へ前進するために不可欠の書。

聖マリアグループ
温かい合同クリスマス第64回



参加者全員でのキャンドルサービス

例年になく暖かな12月24日の夜、既存の建物では最後の行事となるであろう、クリスマスミサが行われた。美野島司牧センターに訪れる外国人も開設当初に比べ少なくなつたが、ここから日本での生活をはじめた多くの人が昔を懐かしみ、主に南米の方々を中心に100人程集まった。コース・マルセル神父の司式でイエス様生誕のお祝いと感謝のミサを捧げ、参加者全員でのキャンドルサービス後、お祝

美野島司牧センター
改築前に昔を懐かしみ

15世紀、ケンピスにより書かれた『キリストにならいて(イミタチオ・クリスティ)』を新たな解釈と語彙の統一が必要であるという結論に至った著者が今後の研究の糧となるべく編纂した翻訳本。



☆キリストを生きたる
山内清海訳
税込価格 1296円

文芸社発行
税込価格 972円

☆争いから交わりへ
2017年に宗教改革を共に記念するルーテル教会とカトリック教会



BOOK
読は専科

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

いつくしみから
踏み出す第一歩

福音と平和のつどい



＜テーマ＞いのちを大切に
する社会をめざして
ー見て、聞いて、知って、働くー

日 時：2月11日（土・祝）
10時～16時30分

場 所：カトリック大名町教会
基調講演：Sr. マリア・コラレス
（聖母被昇天修道会）

★詳細は各小教区に配布されて
いるポスター・チラシを
ご覧ください。

今村信徒発見 150 周年



信仰のみちのり

～信仰の伝達、共に語り伝えよう！～
今村・本郷両小教区では2月26
日に今村信徒発見 150 周年の記
念日を迎えます。

【記念ミサ】

日時：2月26日（日）10時から
会場：今村教会
（福岡県三井郡大刀洗町大字今707）

2017 スープの会
ホームレス支援 越冬炊き出し

みなさん、ご参加ください。献品・献金をお願いします。
2月から3月の3週目まで毎金曜日（3月2週目休み）



【調理ボランティア】
14時～大名町教会 1階厨房
【配布ボランティア】
20時集合 大名町教会1階講堂
【献品】
防寒着・毛布・靴下・カイロ・ラッ
プ・アルミホイル・葛根湯風邪薬
【問合せ】
飛永薫 ☎080・4317・4152

アジアン・ユース・デー

第7回アジアン・ユース・デーの参加募集が始まっ
ています。

テーマ：「Joyful Asian Youth! Living the
Gospel in Multicultural Asia アジアの若者よ、
多様性あふれたアジアの文化の中で、福音を喜んで
生きなさい！」

日 程：2017年7月30日～8月6日
場 所：インドネシア・ジョグジャカルタ市
対 象：18～35才（大学生以上）
（多少の英語力は必要です）

募集人数：50名

費 用：参加費（およそ 25,000円）＋旅費（インドネ
シアまでの往復旅費は自己負担です）

申込書：中央協議会のページからダウンロード

締切り：2017年2月末（変更の可能性有）

問合せ：カトリック中央協議会 青少年司牧部門
gensec@cbcj.catholic.jp

2017 年福岡教区第 52 回クルシヨ

テーマ：私たちカトリック信徒の使命とは

日 時：5月4日（木）10時～6日（土）15時

場 所：福岡黙想の家（宗像市名残 1056-1）

参加費：16,000 円（全宿泊費、食費含む）

問合せ：徳永哲 TEL/FAX 093・592・0316

カトリック中央協議会のホームページがリニューア
ルされました。

<https://www.cbcj.catholic.jp/>

福岡教区広報室アドレス

<http://fukuoka.catholic.jp>

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

2月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 2月

4日（土） ロザリオの会～黙想と祈り～10時～15時（指導：内山神父）
10日（金）～11日（土） 聖マリア在俗会
18日（土）～19日（日） 月例黙想会（参加歓迎致します）
【3月】

4日（土） ロザリオの会～黙想と祈り～10時～15時（指導：内山神父）
11日（土）～12日（日） 月例黙想会（参加歓迎致します）

※ただいま、ホームページ休止中です。

直接お電話またはメールでお問合せください。

*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：山上の教え

・日 時：2月9日（木）10時～15時

・内 容：心の貧しい人々は、幸せである。…（マタイ5・3）

指 導 者：ロッコ神父（真命山副院長）

問合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

・次 回：3月9日（木）柔和な人々は… マタイ5・4

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

玉名郡和水町蜷浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：2月4日、18日、3月4日、18日
10時～11時45分

場 所：カトリック大名町教会小聖堂

【2月】

1日（水） 諸宗教対話部門会議

2日（木） 主の奉獻 常任司教委員会

↑マテオ山川辰幸（2002年 二日市教会）

3日（金） 初金ミサ・サーリスの集い

5日（日） 年間第5主日 二日市教会堅信式

6日（月） 高山右近列福前夜祭

7日（火） 高山右近列福式・ミサ

8日（水） 高山右近列福感謝ミサ

9日（木） 司祭評議会・教区本部会議・責任役員会

11日（土） ルルドの聖母 世界病者の日

↑ペトロ高木善行（2015年）

12日（日） 年間第6主日 ↑ラウレンシオ岩永義人（2009年）

14日（火） 高山右近列福感謝ミサ（大名町教会）

19日（日） 年間第7主日 武蔵ヶ丘教会堅信式

20日（月） 臨時司教総会（～24日）

22日（水） 聖ペトロの使徒座

25日（土） カトリック幼児教育教職員養成研修

26日（日） 年間第8主日 今村信徒発見150周年記念ミサ

【3月】

1日（水） 灰の水曜日（大斎・小斎） 四旬節愛の献金

3日（金） 初金ミサ・サーリスの集い

↑E.グリフィン（2014年）

5日（日） 四旬節第1主日

船津神学生朗読奉仕者選任式（久留米教会）

司教顧問会（宗法）幼稚園園長会

↑ミカエル平田寛（2002年）

■ゴチックは司教日程

福岡

0・2305・5191 Br.阿
部（パウロ会）

■レジオナリエ福岡クリア
（日時）2月12日（日）14時から

（場所）高宮教会（問合せ）☎0
90・5936・3831今野

■ボランティア交流会
（日時）2月18日（土）10時～

15時（場所）大名町教会1階
講堂（内容）ボランティア活

動報告・ミサ（主催）福岡地
区カトリック女性の会

■グレゴリオ聖歌を歌う会
（日時）2月21日（火）11時か

ら（場所）聖クララ寮（内容）
グレゴリオ聖歌ミサとベネ

ディクション（問合せ先）☎
096・380・5686堺

■ラスキン黙想と祈りの集い
（日時）2月24日（金）19時45

分から（場所）大名町教会小
聖堂（問合せ先）☎090・

2305・5191 Br.阿部（パ
ウロ会）

■心の問題を楽しむ会
（日時）2月26日（日）14時～

16時（場所）福岡黙想の家ロ
グハウス（テーマ）「認知行

動療法」認知療法の父は、ヴィ
クトール・E・フランクル（夜

と霧（問合せ先）☎0940・
33・2731吉永

■カルメル在世会集会
（日時）2月27日（月）10時半

から（場所）福岡女子カルメ
ル会修道院・テレサの家（内

容）ミサ・講話（指導）中川
博道神父（カルメル会）（問

合せ先）☎095・828・2
350 鶴池

■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支

えます！◆ホームレスの方に
手作りのお昼ごはん 毎週火曜

日10時30分◆越冬期ホームレ
ス支援夜回り毎週金曜日20時

大名町教会（スープの会と協
働）◆路上からアパートに入

居した方を訪問 第3土曜日
13時（問合せ先）☎092・

431・1419 M・コース
神父

筑 後

■スピリチュアルケア講座
（日時）3月18日（土）9時半

～17時（場所）久留米シテイ
プラザ（講師）W・キツペス

神父（費用）3000円（申込・
問合せ先）☎090・956

8・0076 野川※要申込み
3月6日べ切

北九州

■北九州召命を共に祈る会
（日時）2月9日（木）14時か

ら（場所）小倉教会（内容）ミ
サと茶話会（問合せ先）☎0

949・24・9905 藤井
■小倉祈りの集い

（日時）2月24日（金）13時半～

15時（場所）小倉教会信徒会館

編集後記

句いを感じない日が続い
た。5日目の朝、わずかなが
ら句いを嗅ぐことができた。
前方が明るく見えた。神はい
ろいろな経験をさせてご自分
の方に向かわせよとされる。

佐 賀

■佐賀祈りの集い
（日時）2月10日（金）10時～

12時（場所）佐賀カトリック
会館（内容）ミサと祈り（問

合せ先）☎0952・30・8
347 吉武

お詫びと訂正

1月号2面の司祭連名の
年の挨拶に聖マリア病院チャ
プレンのピアッツィ二師の名
前が掲載されておりませんで
した。お詫びし、訂正いたし
ます。

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホール

業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリード(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

*入院基本料（一般病棟7:1）

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942-35-3322(代表)

FAX0942-34-3115

<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか？

＝募集＝

医師・看護師・医療技術職

ユスト高山右近 列福記念公演

オペラ高山右近ー至福の王者
ー剣が愛かー

日 時：2017年2月26日（日）

16:30開演（16:00開場）

場 所：カトリック大名町教会大聖堂

入場券：3,000円

問合せ：大名町教会☎092・741・3687

※ご来場の節は、公共交通機関をご利用ください。

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために…



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930